



第64号
H26年1月22日

発行 結城地域農業改良普及センター
TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682
HP <http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/noucenter/fukyu/yuki/>
<http://www.pref.ibaraki.jp/nourin/nourinjimu/kensei/yuuki/index.htm>

「大地からのご褒美」ぜひご賞味ください！ - (有) 大地 県農産加工品コンクールで優秀賞を受賞 -

12月13日に開催された平成25年度茨城県農産加工品コンクールにおいて、常総市の農業法人(有)大地が出品したトマトジュース「大地からのご褒美」が優秀賞(農林水産部長賞)を受賞しました!

この加工品は、(有)大地の直営農場で丹精込めて栽培した完熟トマトをジュースに加工したもので、会社名「大地」と原料トマトの品種名「ごほうび」の名前から命名されました。

コンクールでは、トマトの香りや旨みがよく出ていること、さらっとして飲みやすいこと、また、トマトの水分とその他の成分を分離せず均一に仕上げる技術の高さが評価されました。

(有)大地の吉原代表取締役は、「入賞すると思っていたので驚いた。今回の受賞を機に今まで以上にトマトジュースのPRに励んでいきたい」と、今後の活動に向け、決意を新たにしていました。トマトジュースは、(有)大地の直売所「みんなの市場」で好評販売中です。

普及センターは、引き続き関係機関と連携しながら、新商品開発や起業活動の発展を支援していきます。



左: 賞状を手に微笑む吉原代表取締役
右: トマトジュース「大地からのご褒美」

将来の農業の担い手確保へ向けて！ - 「結城地域 未来につながる農業フォーラム」開催 -

結城市・八千代町・常総市は、露地野菜を中心とした青果物の一大産地を形成しており、県内でも比較的農業後継者数が多い地域です。しかし、今後も継続的に人材を確保し、産地を維持・発展させていくためには、新規参入者の雇用や法人化などを視野に入れていく必要があります。

このフォーラムでは、長野県で農業者の育成や儲かる農業を実践されている「農業生産法人有限会社トッピーバー」代表取締役の嶋崎氏をお招きし、担い手育成や営業活動などについてお話を伺う予定です。ふるってご参加ください。

開催日時: 平成26年2月25日(火) 13:30~15:30 (受付 13:00~13:30)

開催場所: 八千代町公民館 1階 大ホール

内容: (1) 講演: 儲かる農業は人材育成, 営業活動から
講師: 農業生産法人 有限会社トッピーバー 代表取締役 嶋崎秀樹 氏
(2) 講習: 農業経営の改善について
担当: 結城普及センター 職員

1年間の活動の締めくくり！ -管内の2つの農村青少年クラブがハクサイを収穫-



結城市農村青少年クラブ



鬼怒4Hクラブ

12月16日に結城市農村青少年クラブが、17日には鬼怒4Hクラブが、それぞれ冬期共同プロジェクト活動で栽培しているハクサイの収穫・出荷作業を行いました。

結城市農村青少年クラブの課題は、地域で問題となっているハクサイ根こぶ病対策で、農薬や抵抗性品種などを組み合わせて試験を行いました。その結果、農薬および抵抗性品種の利用により根こぶ病被害を防ぐことができ、クラブ員は対策の有効性を実感していました。

また、鬼怒4Hクラブはコナガおよびハイマダラノメイガの防除を課題とし、新規登録農薬の効果確認を行いました。調査の結果、新規登録農薬は慣行の農薬と同等の効果が確認されました。

早朝・夕方の寒さが厳しい時期の収穫となりましたが、クラブ員は質の良い大きなハクサイを手に取り、非常に満足した様子でした。

今後も普及センターでは、プロジェクト活動など地域の次代を担う若手農業者の活動を支援していきます。

生育ステージに合わせた適正な温度管理を！ -レタストンネル換気講習会-

1月9・14・15日の3日間、JA北つくば結城園芸部会レタス部の春レタスほ場換気講習会が開催されました。12月上中旬に定植したほ場6ヶ所を巡回し、本年は前年に比べて、12月の気温がやや高く推移しており、定植後、順調に生育している様子が確認されました。

普及センターからは、昨年12月からの気温の推移やトンネル内の温度および湿度、レタスの生育ステージごとの生育適温について情報提供を行いました。この時期は、外気温は低いものの、晴れた日の日中にはトンネル内の温度が30℃を超えることもあることから、換気による適正な温度管理を呼びかけました。

普及センターは、今後も関係機関と連携を取りながら、管内のレタス生産の振興に向けて活動していきます。



講習会の様子

病害虫ノート

施設野菜での発生に注意！ -灰色かび病-

灰色かび病は、野菜、花き、果樹など多くの作物を侵す病害です。本病は、20℃前後の温度で湿度が高く、日照が少ないときに発生しやすくなります。そのため、2月から3月にかけて、施設野菜栽培で発生し始めます。

本病は多湿条件を好むため、湿度を低く保つ対策をとることが重要です。昼近くになっても作物の葉上に水滴が残る場合は、換気、送風、暖房などにより施設内の除湿を徹底してください。また、被害部位を徹底して取り除いてハウス外に持ち出すことも有効な対策です。



トマト果実の病徴